

PROASM-II Ver. 3.0

4/8ビット汎用マクロ・クロス・アセンブラ

PROASM-IIは、強力なマクロ命令と独自の機能を備えた汎用マクロライブラリです。

 Windows2000.XP.Vista.7
(32Bit/64Bit)対応

 詳細デバッグ情報をサポート

主な特徴

- 汎用クロスアセンブラ。
- 新たなMPUに対応する為に、マクロライブラリ作成の方法を公開。
- 標準で7種のMPUのアセンブラを装備。
(Z80、8085、6809、8048、8051、630X、64180)
- PROASM-IIに付属している7種のアセンブラは、ニーモニックコードでチップメーカーに完全コンパチブル。
- 用途に応じて選択できるように、リロケータブル形式とアブソリュート形式のアセンブラを用意。
- リロケータブル形式においてローカルシンボルによるデバッグを可能とするメイクシンボルプログラムを用意。
- 豊富な擬似命令を用意。
- ラベル(シンボル)は最大128文字長まで可。
- リロケータブルオブジェクトファイル形式は、マイクロソフト社のMACRO-80と上位コンパチブル。
- 高速アセンブルを実現。
- Windowsコマンドプロンプト対応
(Windows2000.XP.Vista.7対応)
- 詳細デバッグ情報をサポート。アセンブラレベルのソース情報はもちろん、変数の型情報なども出力され、快適なデバッグ作業が可能です。

●アブソリュート、リロケータブルの両タイプのアセンブラが付属しています。●Z80などのマイクロプロセッサを標準サポート(ニーモニックは各チップメーカーの標準ニーモニックに準拠、ただしZ80以外のマイクロプロセッサ用のアセンブラとして使用する場合は、各マイクロプロセッサ用のマクロライブラリが必要です。) ●リロケータブルアセンブラの出力形式はマイクロソフト社のREL形式の完全上位コンパチブル。●MACRO、IRP、IRPC、REPT、INCLUDE、ASEG、DSEG、CSEG 他約80の擬似命令をサポート(M80のソースコードでマクロ以外の部分は、ほとんどそのまま受け付けます。) ●マクロライブラリの作成方法は、ユーザに完全公開されています。したがって、他の8/4ビットマイクロプロセッサ用のマクロライブラリをユーザサイドで記述することも容易にできます。

※記載の社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。記載内容は事前の予告無く変更する場合があります。



京都マイクロコンピュータ株式会社

本社:〒610-1104 京都市西京区大枝中山町2-44 Tel.075-335-1050 Fax.075-335-1051
東京オフィス:〒105-0004 東京都港区新橋2-14-4 Rビル5F Tel.03-5157-4530 Fax.03-5157-4531

<http://www.kmckk.co.jp/proasm/>
お問い合わせメールアドレス: jp-info@kmckk.co.jp

2011.11